

団 体 名		環境地図教育研究会					
代 表 者	住所	〒070-8621 旭川市北門町9丁目					
	氏名	坂井 誠亮	電話	0166-59-1288	FAX	0166-59-1288	
事務局等	住所	〒070-8621 旭川市北門町9丁目					
	氏名	栗林 賢	電話	0166-59-1283	FAX	0166-59-1283	
Eメール	kuribayashi.ken@ a.hokkyodai.ac.jp		ホームページ	http://www.environmentalmap.org/			
設 立 年 次	平成10年		会員数	約80名	会 則	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	
活 動 資 金	約20万円/年						
☆設立(活動)目的							
<ul style="list-style-type: none"> 環境地図教育研究会は、「私たちの身のまわりの環境地図作品展」をはじめとする諸活動を通じ、環境・地図教育の深化と普及を図るために1998年2月に設立されました。 							
☆主な活動内容							
<ul style="list-style-type: none"> 研究会は毎年「私たちの身のまわりの環境地図作品展」、「環境地図教育研究集会」、児童生徒対象の「みんなの環境地図ワークショップ」などを開催し、会誌(年刊)とニューズレター(不定期)を発行しています。また市民向けのイベントや教育研究活動にも積極的に取り組んでいます。会員はこれらの活動やイベントに参加し、会誌、ニューズレター、環境地図作品展ポスターなどを受け取ることができます。 							

☆近年の活動状況、今後の活動予定等

1 2016年活動概要

- ・ 前年に引き続き、環境地図ワークショップが北海道教育大学環境チャレンジプロジェクトに認定。
- ・ 8月に開催されたIGU北京大会に氷見山顧問が出席。研究会ブースを設置し広報活動。
- ・ 旭川市教育研究会、上川地区社会科教育連盟の研修会で広報活動（坂井会長）
- ・ 北海道新聞で地図展を紹介
- ・ 旭川ケーブルテレビ「ポテト」で地図展を紹介
- ・ 環境地図教育フェア2016（第26回環境地図展）（会場：旭川市科学館「サイパル」、市民活動交流センター CoCoDe）開催。CoCoDeで表彰式、環境地図教育ワークショップ

2 環境地図教育フェア2016報告

2016（平成28）年度「私たちの身のまわりの環境地図作品展」は今年、26回目を迎えました。この作品展は1991年8月に旭川市で開催された「環境変化と地理情報システム国際会議」のサイドイベントとして始められたものですが、それから今日まで、日本で開催されるただ一つの全国規模・世界規模の地図作品展として発展を続けています。これはひとえに、一生懸命頑張って素晴らしい地図を作り応募してくれた多くの児童生徒と、彼らを支えてくださったご家族、先生方や周囲の皆さん、それに作品展に協力してくださった人々や機関、学会、会社などの温かいご支援のお陰です。

今年は本地図展に国内から35校1724点の応募がありました。それらのうち、予備選考を通った小学校21点、中学校540点、高等学校54点、計615点の作品が10月1日～2日に開催された最終選考会で審査され、その結果優秀賞39点、優良賞24点、努力賞34点、計97点が選出されました。この作品展には「指定テーマ」と「自由テーマ」とがあり、今年の指定テーマは身のまわりの「電気」でした。指定テーマでは、無電中化の実態を解明したものや身近な街灯の照度を図ったものなど、面白い着想の作品が多数見られました。自由テーマ作品が多かったのは、昨年と同様、安全や防災などですが、例えばカーシェアリングの普及状況を調べた作品のように、近年の技術革新に注目したテーマの作品もありました。

展示会場には全入選作品97点を貼り出しました。テーマは様々ですが、大変な力作ぞろいで、見ていて楽しく、また作者の思いが強く伝わってくる作品ばかりでした。特に、本地図展の最高賞である国土交通省国土地理院長賞を受賞した「我が町神楽岡の街路樹MAP」と「What's 見沼田んぼ？見沼代用水とさいたま市MAP」は、いずれも着想、調査の周到さ、地図表現、考察などが大変優れています。

☆表彰その他受賞等